



蘇我中だより

千葉市立蘇我中学校

第 4 号

令和 8 年 5 月 29 日

体育祭・修学旅行を終えて



【体育祭】5月 16 日(土)、天気恵まれ、今年度の体育祭が開催されました。「閃光～絆で繋ぐ、勝利のバトン～」のスローガンのもと、生徒たちは、競技にも、応援にも全力で取り組み、熱気あふれる一日となりました。

開会式では、校歌斉唱や選手宣誓、全校体操などが整然と行われ、生徒一人一人の真剣な表情が印象的でした。個人種目では 100m 走や借り物競争が実施され、会場からは、大きな声援が送られました。

団体種目では、「学級対抗リレー」のほか、1 年生が「綱引き」、2 年生が「5 人 6 脚」、3 年生が「騎馬戦」に挑戦しました。それぞれの学年の団結力や作戦が光り、見ごたえのある競技となりました。また、「紅白対抗リレー」と「応援合戦」では、学年を超えたチームワークが発揮され、会場全体が一体となる盛り上がりを見せました。

接戦の末、今年度の優勝は白組。勝敗を超えて、どの生徒も仲間と力を合わせて競技に臨む姿は、観る人の心を打ちました。

当日は、地域の代表や学校評議員の皆様にご参観いただいた他、受付や巡回など、様々な場面で PTA やおやじの会の皆様、保護者の皆様に多大な協力をいただきました。温かく見守ってくださった地域の皆様にも、心より感謝申し上げます。

【修学旅行】5月 27 日(水)から5月 29 日(金)までの3日間、3 学年が金沢方面に修学旅行に行ってきました。昨年度に続いて「宿泊学習」を実施することができました。日ごろからの健康管理を、感染症対策も含めてしっかりと行い、全ての行程を終えることができました。また、修学旅行実行委員会で決めた「金箔の輝きよりも仲間と笑った一瞬を」をスローガンに、充実した3日間を過ごすことができました。

1 日目は方面別の散策をしました。2 日目は、金沢城公園で集合写真を撮った後散策し、市内で自分たちの計画に沿った班別活動を、3 日目は体験学習を実施しました。3 日間の中での成長も感じられ、楽しむことは皆で、そしてマナーをしっかりと守ることもできる、メリハリのある行動ができたと思います。

蘇我中学校として昨年に続いての「金沢」での修学旅行でしたが、3 年生にとっては、今後の生活にもつながる貴重な体験となりました。また、次年度以降の学年にも、よい橋渡しができたのではないかと思います。



生徒総会、JRC(Junior Red Cross)登録式 5月8日(金)

生徒会の活動方針や活動計画、予算などを決定し、生徒会を自分たちで運営するなど、「自治的な態度」を育むことを目的に開催されました。3 年生は体育館、1・2 年生は教室でオンライン参加となりましたが、生徒会本部役員の円滑な進行の下、とても有意義な時間となりました。自治的な活動が校内にますます広がっていくことを楽しみにしています。



【3 年生の様子】

体育祭 5月16日(土)

天候にも恵まれ、体育祭実行委員や応援団の生徒を中心に素晴らしい体育祭となりました。ここで実行委員長や応援団長などの言葉を紹介します。

体育祭お疲れ様でした。皆さんが最後まで諦めず全力で取り組んでくれたおかげで最高の体育祭にすることができました。私を信じてついてきてくれた皆さん、本当にありがとうございました。	実行委員長として体育祭を大成功で終わられてよかったです。競技では、学年関係なく応援する姿が印象的でした。体育祭で学んだ多くのことを、これからの学校生活や次の行事に生かしていきましょう。短い間でしたが、ありがとうございました。	3年間の集大成となる体育祭の応援団長としての責任や緊張感は想像以上でしたが、勝ち負けではなく、これからの人生に生かせる良い経験になりました。僕を支えてくれた全ての方々、本当にありがとうございました。
【白組副団長】 皆さん、お疲れ様でした。結果はどうであれ、一人一人が仕事に責任をもって取り組み、悔いの残らない体育祭となりました。副団長として皆さんと、いい思い出が作れてよかったです。そして、この体育祭で得たことをこれからの生活や行事に生かしていきましょう。	【副実行委員長】 実行委員は体育祭を成功させるために、常に完璧を求め、完璧な準備をしました。その結果、これ以上のない唯一無二の体育祭となりました。体育祭での新しい学びを見つけられたとき、はじめて成長し経験値が高まります。この経験はお金では買えません。得たものをお金で買えない人生の財産にしましょう。	【白組副団長】 大事な役割として、大変なことや辛いこともありましたが、応援団長や他の応援団にも支えられ、後悔なく終えることができました。みんなが一つになって全力で戦う姿は本当に格好良かったです。皆さんのおかげで最高の思い出になりました。白組の絆は永久に不滅です。
最後の体育祭で、団旗という仕事を全うできたことをとても嬉しく思います。体育祭当日、皆さんの楽しそうな表情や応援する声を聞くことができ、普段よりも団旗を軽く感じることができました。本当にありがとうございました。	 【美術部作成の横断幕】	中学校生活最後の体育祭で団旗を振れたことを嬉しく思います。友人から「格好良かったよ」と言われ、愛を感じました。すごく幸せでした。この思い出を忘れずに、これからの日々も駆け抜けたいです。
最後の体育祭で本当にいい経験をすることができました。最初はできるかどうか、皆さんの足を引っ張らないか不安でしたが、終わった今、挑戦してよかったと思えました。本当にありがとうございました。	 【3学年騎馬戦】	応援団をやった3年間の中で初めて太鼓に挑戦したので、正しく音を合わせて打つのに苦労しましたが、応援団の仲間と協力して練習を重ね、本番では自分らしくやりることができました。みんなの心に残る応援合戦に出来ていたらよいと思います。
私は2年生から応援団に入って、その時から太鼓をやりたいと思っていました。今年もたくさん練習を重ねて、その成果を発揮することができました。最高な形で終わることができてよかったです。	 【応援席の様子】	皆さんお疲れ様でした。私は太鼓として体育祭を盛り上げてきました。皆さん、リズム感がとてもよくて、太鼓をやっていて楽しかったです。最後の体育祭を一生忘れられない思い出にすることができました。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて

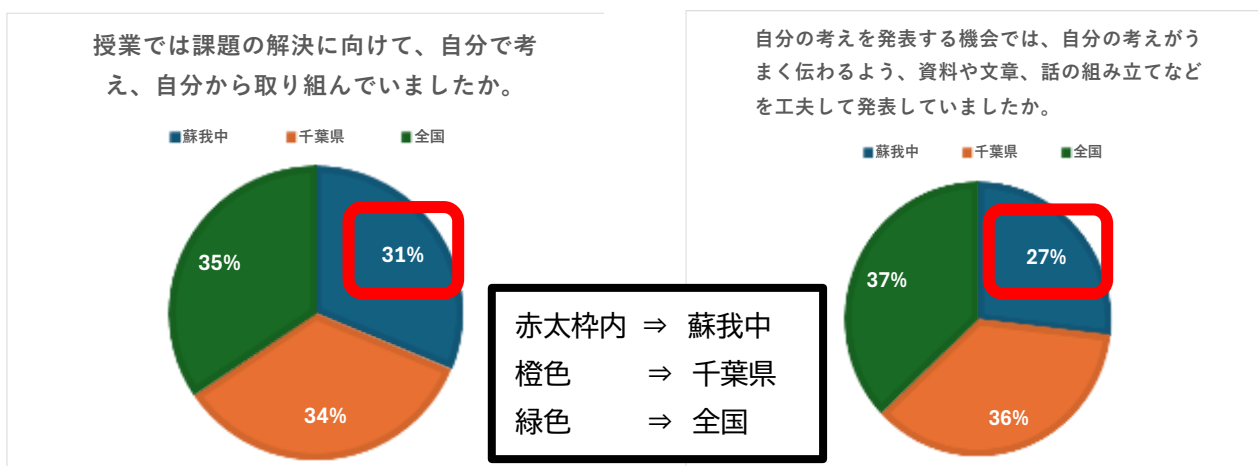
文部科学省中央教育審議会における平成28年答申では2030年の社会と子供たちの未来について、以下のように記載されています。

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となっており、しかもそうした変化が、どのような職業や人生を選択するかにかかわらず、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっている。社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば、難しい時代になると考えられるかもしれない。

しかし、このような時代だからこそ、子供たちは、変化を前向きに受け止め、私たちの社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現したりしていくことができる。

この答申を受けて改訂された学習指導要領では前文が設けられ、育成を目指す児童生徒の姿について、以下のとおり記載しています。これからの学校には、(略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

令和7年度に実施した全国学力・学習状況調査の結果によると、本校の課題が見えてきます。学習状況の調査では、全国、千葉県平均を下回る項目が散見され、特に、下図にあるように、「主体性」や「自分の考えを仲間に上手に伝える力」の育成を喫緊の課題として捉えています。



これらを踏まえ、本校では、授業改善を引き続き進め、次のことを大切にしながら指導を行ってまいります。

- ・生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫
- ・自らの考えを記述したり、話し合ったりする場面、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面の設定
- ・ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループや学級における話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたり、それらを集めたポートフォリオを活用したりするなど、評価方法の工夫

<7月の予定>

2日(木)	部活動壮行会リハーサル	14日(火)	全校代議員会
3日(金)	部活動壮行会	16日(木)	専門委員会
6日(月)	げんき交流会	17日(金)	全校集会⑥、給食終了
9日(木)	薬物乱用防止教室(2年)	21日(火)	夏季休業(～8/31)
13日(月)	けやき学級校外学習	9/1(火)給食なし	

